

J A 自己改革

地域になくてはならない J A であり続けるため、「不断の自己改革」に取り組んでいます。

1 自己改革の取り組み

農業者の所得向上へ向けた取り組みをすすめています。

◆ICT を活用した反収量の増加

柑橘

- ・圃場を巡回し、情報収集・情報共有により栽培管理の高度化に取り組みました。

苺

- ・サンベリーミーティングにて情報交換を行い、高度化栽培技術の普及活動を行いました。



農業者の売上増加・コスト削減に向けた取り組みをすすめています。

◆温室みかんの契約販売の拡大

令和 5 年度計画	令和 5 年 9 月末実績
130 t	191 t

◆柑橘・苺・野菜品目の直接販売の拡大

	令和 5 年度計画		令和 5 年 9 月末実績
柑橘	400 百万	柑橘	360 百万
苺・野菜	40 百万	苺・野菜	23 百万

◆農薬予約購買の拡大

令和 5 年度計画	令和 5 年 9 月末実績
予約率 45%	予約率 43.4%



◆産直品販売高の増加

- ・新たな野菜の栽培を提案し、産直野菜の種類を増やす取り組みを行いました。

2 経営基盤の確立・強化

総合事業の効率的な運営により健全で持続性のある経営に向けた取り組み

◆組合員・利用者の利便性を考慮した金融店舗再編

金融店舗再編・店舗統合に向けて準備をすすめています。

- ・令和 5 年 4 月 3 日 中部ブロック体制の運営開始
- ・令和 6 年 4 月 1 日 西部ブロック体制の準備

◆デジタル化による出荷から精算までの効率化

柑橘の出荷申込みから精算と連絡・案内の効率化のために、デジタル端末を使った仕組みへの切替えを進めています。

- ・令和 5 年 4 月 ハウスみかん出荷申込のシステム運用を開始
- ・令和 5 年 9 月 露地みかん出荷申込のシステム運用を出荷品目ごとに開始



3 准組合員の意思反映及び事業利用

「地域農業のパートナー」である准組合員の声も聴くことで、正組合員と准組合員が一体となった J A 運営を実現します。

准組合員意見交換会は 38 名、正組合員意見交換会には 307 名に参加いただいております。

